

革新的技術活用特別委員会会議記録

革新的技術活用特別委員長 毛利 正徳

1 日 時

平成30年11月26日（月） 午前10時47分から
午前10時58分まで

2 場 所

第6委員会室

3 出席した委員の氏名

毛利正徳、吉富英三郎、麻生栄作、森誠一、末宗秀雄、木田昇、羽野武男、
小嶋秀行、戸高賢史、桑原宏史

4 欠席した委員の氏名

なし

5 出席した委員外議員の氏名

なし

6 出席した執行部関係者の職・氏名

なし

7 会議に付した事件の件名

別紙次第のとおり

8 会議の概要及び結果

報告書（素案）について協議した。

9 その他必要な事項

なし

10 担当書記

政策調査課調査広報班	主査	後藤仁美
政策調査課政策法務班	主幹	光延慎一
議事課委員会班	副主幹	長友玉美

革新的技術活用特別委員会次第

日時：平成30年11月26日（月）本会議終了後

場所：第6委員会室

1 開 会

2 報告書（素案）について

3 その他

4 閉 会

会議の概要及び結果

毛利委員長 これより、革新的技術活用特別委員会を開きます。

本日は、報告書の素案について協議します。

委員の皆さまには、事前にお送りし、意見をお伺いしておりますが、改めて報告書の素案について、事務局より説明させます。

〔事務局説明〕

末宗委員 意見ではないんですが、I o TとI C Tの違いは何か、なぜI o Tは入れてI C Tは入れないのか。別に意見ではないんですが。

毛利委員長 I o Tというのは全てのものがインターネットにつながるということ。

木田委員 I C TのCはコミュニケーションのCですね。

小嶋委員 通信会社はI C Tって言いますけどね。I Tが入っていれば問題ないですね。

末宗委員 I C Tってよく聞くんだけどね。

桑原委員 一番最初にI o Tやビッグデータ、人工知能等という形で革新的技術をあげているんですが、多分これから分散型台帳技術、ブロックチェーン、それがすごく言葉として出てくると思うんですよ。なので、これをぱっと見たときに古い感じがしちゃうんじゃないかなと思うので、分散型台帳技術という言葉等を等の前に入れていただきたいと思います。実際にその技術を活用して、茨城県では地域通貨を発行していて、通貨だけでなく医療の連携、改ざんできないような、見られないような技術であったり、県民の意見を募集するのに、分散型台帳技術を使うという試みも始まっています。言葉だけでも入れていただいて、何だろなということ、報告書を読む人に気付きを与えられればと思いますので、希望します。

毛利委員長 皆さん御存じのとおり、革新的技術活用特別委員会としてスタートして、その中で調査研究を進めてまいりました。桑原議員などが言われているように、どんどん進化しているので、言葉が追加されたり、事業の展開がさ

れるということもありますので、それも含めて報告書案を作成して皆さんに提示したいと思っています。御意見については取り入れるようにしますが、取り入れ方については委員長に御一任いただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「はい」と言う者あり〕

毛利委員長 なおほかに御意見やお気付きの点があれば、事務局から説明がありましたとおり11月30日までに事務局に連絡してください。

次回は一般質問2日目、12月4日にお集まりいただいて最終決定をしたいと考えております。

この際、何かありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

毛利委員長 これをもって本日の委員会を終わります。